



中五先生我印得母の文章のあり
りたるに於ては母とすの以ては評
南の社会の主に才のたゞなるは
然らば我文章の由來のたゞなるは
たゞの筆の取散するにすぎず
り中五先生の幼雅なる風を先生に
可也世傳するに於ては多に年
計ありとす 先生は先生に一説
而して世評を達するに世を以て
匡正補正するに多に才ありとす
是亦先生の一説也先生は先生に
大に才は我文章のたゞなるは
たゞなるは先生のたゞなるは
たゞなるは先生のたゞなるは
先生は先生に一説也先生は先生に
一説也先生は先生に一説也先生は先生に
一説也先生は先生に一説也先生は先生に
一説也先生は先生に一説也先生は先生に
一説也先生は先生に一説也先生は先生に

道達坪内先生

高小林次郎
中島

中五先生は先生に一説也先生は先生に
一説也先生は先生に一説也先生は先生に
一説也先生は先生に一説也先生は先生に
一説也先生は先生に一説也先生は先生に
一説也先生は先生に一説也先生は先生に
一説也先生は先生に一説也先生は先生に
一説也先生は先生に一説也先生は先生に
一説也先生は先生に一説也先生は先生に
一説也先生は先生に一説也先生は先生に
一説也先生は先生に一説也先生は先生に
一説也先生は先生に一説也先生は先生に
一説也先生は先生に一説也先生は先生に
一説也先生は先生に一説也先生は先生に
一説也先生は先生に一説也先生は先生に
一説也先生は先生に一説也先生は先生に
一説也先生は先生に一説也先生は先生に

東京牛込區大久保余丁
百十二番地
坪内雄蔵様

城
陸前仙臺市
高小林次郎
中島
日比谷七年七月

